

平成二十七年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の進学機会の拡大等についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 橘川 睦子

同 進路調査研究委員会

委員長 安西 啓雄

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められており、家庭に関する学科等においては、生活産業を担うスペシャリストの育成を目指しております。その中、高等学校で身につけた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、専修・専門学校への進学を希望する生徒が多数おります。

しかしながら経済的な理由で、進学を断念したり、入学後の学業に専念できない生徒も少なからずおり、その環境改善を切に願うものであります。

つきましては、進学機会の拡大等に向けた環境整備など、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金の貸与等、経済的優遇措置の一層の拡充。

二 学校家庭クラブ活動やインターンシップ等の学習成果、及び公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による「被服製作技術検定」、「食物調理技術検定」、「保育技術検定」の合格者に対する評価の重視。

以上の二項目につきまして重点事項として要望いたします。